甲B第169号証

（第３種郵便物認可）　2008.7.19付　愛媛

月、高齢女性が自宅で殴られ現金約五百三十万円を奪われた事件で、松山地検は八日、強盗致傷と証拠隠滅の疑いで逮捕、送検されていた松山市朝生田町二丁目、無職三嶋憲一容疑者(三九)について強盗致傷罪は不起訴処分とした。同地検は「実行犯との共謀を認める証拠が十分でなかった」としている。証拠隠滅罪は同日、松山地裁に起訴した。

益な証拠を隠そうと、事件当日の二〇〇七年十二月二日ごろ、松山市内などで事件に使った乗用車のタイヤ四本を交換した。三嶋被告は起訴事実を否認しているという。

同地検は六月二十七日、先に逮捕、送検されていた強盗致傷容疑について「証拠隠滅と一緒に事件処理する」として処分を保留していた。

甲B第169号証

八幡浜上空 米軍機が低空飛行

15―16日 複数回 大洲方面へ

八幡浜市上空などで十五、十六の両日、軍用機とみられる航空機が多数の市民に目撃されていたことが十八日分かった。横田基地（東京都）の在日米軍司令部広報部は愛媛新聞社の取材に対し「低空飛行したのは間違いないようだ」と米軍機だったことを認めた。

徳島県の吉野川沿いでも十五、十六の両日、航空機の低空飛行が複数回あり、墜落の可能性から消防や自衛隊が出動する騒ぎがあった。同県は外務省を通じ十七日、一部が米軍機だったことを確認。低空飛行中止を要請するよう同省に申し入れた。

八幡浜市での目撃情報によると、低空飛行は十五日午後九時ごろと十六日午後五時ごろ、同七時ごろの計三回。いずれも宇和海側から大洲方面に抜ける北東方向の飛行コースとみられる。

同市郷の市職員山本数道さん(五四)は十六日午後七時ごろ、自宅近くで、山の尾根ぎりぎりの超低空飛行を目撃。灰色の双発プロペラ機で輸送機のようだったという。「高度は尾根から約五十㍍。当たると思った瞬間通り過ぎた」と驚いていた。

在日米軍司令部広報部は米軍機の所属や飛行目的、機種などについて「作戦上のことなので答えられない」と話した。

愛媛県総務管理課によると、両日の低空飛行に関し県内では喜多郡内子町から「爆音を聞いた」との連絡一件があった。同課は「高度規制を破っているのかどうかは確認のしようがない。他自治体からも頻繁に情報が寄せられるようなら対応を検討する」とした。

県内には徳島側から四国上空に進入する米軍の低空飛行訓練ルートがあり、西条市の四国電力加茂発電所などを仮装標的に戦闘機などがたびたび低空飛行。一九九四年には高知県早明浦ダム上流で墜落事故が起きた。

原爆症認定を求めた近畿訴訟第2陣の判決で、「勝訴」の垂れ幕を掲げる支援者ら＝18日午後、大阪地裁前

原爆の放射能の影響を受けるような事情の下にあった者」を指し、

胎内で被ばく（4号）の人とともに、被爆者健康手帳の交付対象と

い雨」を浴びたりしたケースがある。

いたと評価できる。は控訴せず、集団訴の全面解決に踏み出べきだ。

大分教員汚職

不正指示「評価と認識」

実行役元参事 組織内地位確立狙う

大分県の教員採用汚職事件で、県教育委員会教育審議監らの指示で不正な点数操作をしたとされる元県教委義務教育課参事江藤勝由容疑者(五二)＝収賄容疑で再逮捕＝が「秘密の行為を任されるのは、自分が評価されているからだと感じていた」と供述していることが十八日、関係者の話で分かった。

また、江藤容疑者が二〇〇七年の試験で不正に操作した点数入力作業を人事班の下一人に手伝わせたことが判明。「部も点数を調整していることは分かっていたなどと関係者に話しているという。

県警は、江藤容疑者の供述から、自身の組織内での地位を確立する目的で不正に手を染めたとみてさらに追及している。江藤容疑者はこれまでも「不正行為を断れば出世ルートから外れる」と供述していたことが判明している。

関係者によると、江藤容疑者は、県警から組織の〝汚れ役〟を担